

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名： 病理解剖検体を用いた悪性神経膠腫終末期の病態解明』

研究機関名： 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者： 脳神経外科 職位・氏名： 准教授・齋藤紀彦

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科では、悪性神経膠腫に対して当院で治療された患者さんの病理解剖検体を用いて、悪性神経膠腫終末期の病態を解明することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、悪性神経膠腫患者さんへのより良い治療法の開発につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者： 2007年1月1日～2021年12月31日までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科において悪性神経膠腫と診断され、治療を行い、その後にお亡くなりになり病理解剖を受けられた患者さん。(10症例)

方法： 病理解剖時に作成した病理標本を肉眼的又は顕微鏡的に評価し、診療録(カルテ)から抽出した生前のデータと併せて解析します。

- 一般的に病理解剖はご遺族または代諾者の同意を得た上で、患者さんがどのような原因、経過で亡くなられたかを組織学的に評価すること、生前に受けられていた治療の効果を確かめることなどを目的として行われています。このような評価を行った後もご提供頂いた患者さんの標本は一定期間、東邦大学医療センター大橋病院病理診断科に保存され、倫理審査委員会で承認を得た研究に用いられることがあります。

【研究に用いられる試料・情報】

試料： 病理解剖時に作成した組織標本

情報： 年齢、性別、発生部位、病理診断、分子診断、腫瘍径、治療内容(手術、化学療法、放射線治療)、合併症、転帰(無憎悪期間、全生存期間)

【研究組織】

代表施設名： 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表医師： 齋藤紀彦 役職： 准教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない患者さんのご家族、代理人の方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者さんに不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科

職位・氏名： 准教授・齋藤紀彦

電話： 03-3468-1251 内線： PHS 7435